

かけはし



空前の韓流ブームから、反韓・嫌韓のヘイトスピーチへ。この10年あまり、愛と憎悪のはざまで激しく揺れ動いてきた日韓関係だが、そんな喧噪から離れたところで、ひっそりと、しかし着実に受け継がれている国際交流の絆がある。

2001年1月26日、JR新大久保駅で、線路に転落した日本人を助けようと、カメラマンの関根史郎さんと韓国人の日本語学校生のイスヒョン(李秀賢)さんがホームから飛び降り救助にあたったが、3名とも帰らぬ人となった。スヒョンさんが外国人であったことから、この事件は大きな話題を呼び、来日したご両親のもとには日本全国から弔慰金が寄せられた。

ご両親は深い悲しみの中で、生前「日韓の架け橋になりたい」と言っていた息子の遺志を継ぐため、アジアからの日本語学校生を支援する奨学会の設立を関係者に懇願し、受け取った弔慰金を寄付した。こうして、母国と日本の架け橋になることを夢見て来日したアジアの若者を支援する奨学会が発足し、スヒョンさんの頭文字をとって特定非営利活動法人LSHアジア奨学会と名付けられ、これまでに18の国と地域から来日した844名の留学生に奨学金を手渡してきた(2017年10月現在)。

日本の小学校の教科書にスヒョンさんが掲載され、2015年6月にはご両親に対し、これまでの活動を顕彰して日本政府より「旭日双光章」が授与された。

本作品『かけはし』第1章では、関係者インタビューによってスヒョンさんの人生を浮かび上がらせると共に、彼の死後、ご両親と同奨学会が行った留学生支援活動や奨学金を受けた留学生の姿を描いている。

第2章では、日韓国交正常化から50周年を迎えた2015年に来日した韓国の大学生の、日本の学生との交流や、歴史的に朝鮮半島と縁の深い、奈良県の明日香村でのホームステイを通して、民間交流をしながらスヒョンさんゆかりの地を訪れる旅を追っている。



上映支援のお願い

日本全国上映行脚へのご支援を呼びかけています。ご協力いただいた皆様のお名前を、当サイトのホームページに掲載させていただき『かけはし』サントラ盤CDを贈呈させていただきます。

※通信欄に「かけはし上映支援」とご記入ください。

郵便振替【口座名】かけはしプロジェクト
【口座番号】00110-8-635246
詳細は『かけはし』公式ウェブサイト
<http://kakehashi-movie.net>

イスヒョンさんが私たちの心に遺したものとは? 母国と日本の架け橋になりたいとの思いを胸に、さまざまな国や地域から来日している人々の姿を通して、国籍を超えた人と人の心の「かけはし」を描いていきたいという思いから、本作品をつくりました。

I am a Bridge! 国籍・民族・文化・習慣・世代など様々な違いを超えて、「人は誰もが心と心を繋ぐかけはしとなる!」。『かけはし』の取材を通して出会った世界の若者たちの姿から、強く感じたことです。

母国に帰った後も、日本がもう一つの故郷として愛される国であったなら、そして出会いによって生まれる新しい視点が、より多様な可能性と、心豊かな社会を生みだし得るのなら、世界の人々と繋がり育まれる友情は、平和で魅力ある日本と世界を創り出していくことでしょう。日本全国での『かけはし』上映に向けて、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

企画・製作・統括プロデューサー：中村里美



『かけはし』は、日本と世界の架け橋となる留学生を応援しています!